

# くらし・なんでも相談

シリーズ  
No.6

## 「厚生年金の 分割制度」

今年4月から施行となる「離婚に伴う厚生年金の分割制度」について、毎月第2土曜日の専門家による無料電話相談には、切実な離婚問題と併せて制度の内容についてのご質問が多くなってきました。

今回は社会保険労務士の山口正人先生に、「くらし・なんでも相談」『つとダイヤル』に寄せられた相談に併せて、制度内容について判りやすくご説明いただきました。



### 【事例①】（女性）

《夫の年収は1,000万円位であるが、平成19年4月1日以降に離婚した場合、年金の分割はどうなるのか。》

結婚28年。子供2人は既に成人している。養子である夫は結婚後も家には下宿代として毎月10万円しか入れてくれなかった。

アル中の夫との離婚を考えている。夫の年収は1,000万円位あるが、平成19年4月1日以降の離婚分割で、どのくらいの年金が受け取れるのか。

### 【回答】（山口正人 社会保険労務士）



離婚分割の対象となるのは婚姻期間の標準報酬合算額であり、現在の年収とは無関係。離婚分割はお互いの合意が必要であり、按分は1/2まで。合意できない場合は家裁に申立てる。平成20年4月1日からの施行3号分割との違いに注意（合意不要だが、分割対象は平成20年4月以降の3号被保険者分に限定される）。

### 【事例②】（女性）

《離婚したいが、夫の厚生年金の分割が出来るようになるまで待っている。い

### くらし・なんでも相談

### 【回答】（山口正人 社会保険労務士）

厚生年金の分割は、4月以降に離婚した場合に自動的に半分もらえるということではない。あくまでも、2人の合意により分割を1/2の範囲で決めて請求することが必要。

## 年金の分割とは

### 「離婚分割」と

### 「3号分割」について

社会保険労務士 山口正人

平成19年4月1日から、離婚した夫婦の年金を分割する制度が新たに施行されます。また、それとは別に1年後の平成20年4月1日からは、「3号分割」という年金分割制度が施行される予定です。特に目前にせまった離婚分割については、夫の年金を妻が分けてもらえるという画期的な制度であると認識され、関心のある方（特に奥様）が実に多く、そのために法施行日までわざわざ離婚を保留しているケースも少なくないと思えます。それほどこの年金の分割に、大いなる期待を持たれているのだと思います。しかし、ちょっと待ってください。年金の

離婚分割はいいことばかりではありません。専業主婦ならともかく、共稼ぎの夫婦では、お互いの厚生年金期間を合算して分割となるため、妻が期待するほどの金額にならないこともあるのです。また、妻が年金受給資格期間（25年）を満たしていない場合は、せっかく年金を分割しても年金をまったく受け取ることができないため、注意が必要です。

離婚分割は、制度の内容を正確に理解し、お互いの年金加入歴を調べた上で、分割される年金がどの位の金額になるのか社会保険事務所でも試算してもらい、夫婦間でよく話し合ってから決めることが大切です。

また、離婚分割と3号分割を混同してしまっている方も多いことから、今回は、「離婚分割」と「3号分割」の要件と、制度内容の違いをご紹介しますので、今後の参考にして下さい。

### 離婚分割

これまで、サラリーマンの夫と専業主婦の妻が離婚した場合、夫は老齢厚生年金を受給できますが、妻は自身の老齢基礎年金を受給するだけで、夫の老齢厚生年金は全く受け取れませんでした。離婚分割は、専業主婦だけでなくすべての夫婦が離婚した場合に婚姻期間中の厚生年金保険料は共同して負担していたものとして、夫婦の厚生年金の加入記録を分割し、年金を計算するものです。

その要件は、つぎのとおりです。

- ①平成19年4月1日以降に離婚が成立していること。
- ②離婚分割に夫婦が合意し、請求すること（合意が困難な場合は家庭裁判所の決定による）。
- ③分割割合は2分の1（最大）までを合意の上決定するため、必ず2分の1になる訳ではないこと。
- ④分割対象期間は、婚姻期間中の厚生年金加入期間に限ること。

- ⑤婚姻期間中の夫婦それぞれの厚生年金加入の合算期間が分割の対象（婚姻期間以外の厚生年金加入期間は対象外）となること。
- ⑥離婚分割の申し出は離婚から2年以内に行うこと。
- ⑦老齢基礎年金は離婚分割の対象外。

### 3号分割

サラリーマンの夫と専業主婦の妻が離婚した場合、婚姻期間中の国民年金の3号期間に対する夫の厚生年金加入記録を、妻の請求により2分の1に強制分割し、夫の老齢厚生年金の2分の1を支給するというものです。要件については、次のとおりです。離婚分割との違いをサイドラインで引いてみました。特に、④がポイントで、合意不要なのは、あくまで平成20年4月1日以降の国民年金の3号被保険者であった婚姻期間についてのみであり、それ以外の期間は離婚分割の請求によることとなります。

- ①3号分割について被扶養者が請求すること。
- ②3号分割について夫婦間の合意は不要。
- ③分割割合は2分の1で固定されている。
- ④3号分割の対象は、国民年金の3号被保険者期間のみであり、妻が厚生年金の被保険者であった期間は除かれる。
- ⑤分割対象期間は平成20年4月1日以降の④の婚姻期間となる。
- ⑥老齢基礎年金は離婚分割の対象外。

### 【訂正とお詫】

2006年12月1日付第235号の相談シリーズNo.4【事例③】の回答に一部誤りがありましたのでお詫びし訂正いたします。

【誤】給与総額が103万円未満であれば…なる。社会保険の扶養：年収130万円以内の見込み…注意すること。」「【正】「…103万円以内であれば…」「…年収130万円未満の見込み…」